



報道関係各位

## 第3回「日本ビール検定」検定終了 1,505名が合格

快挙！ 2年連続で1級首席合格 ～札幌在住 男性会社員（42歳）が偉業を達成～

一般社団法人 日本ビール文化研究会(所在地：東京都渋谷区、代表理事：宮石徹)は、第3回「日本ビール検定(愛称：びあけん)」を2014年9月21日(日)に開催しました。

今回の検定では、新たに埼玉と名古屋の2会場を追加し、札幌、東京、大阪、福岡と合わせて全6会場にて実施。第3回の受検申込者総数は3,461名(受検者総数3,037名)、合格者総数は1,505名(合格率49.6%)となりました。全3回の累計では、12,703名の受検申込者を頂戴し、7,020名の合格者を輩出しています。

第2回から開始した1級においては、2年連続で1級合格を果たした2名を含む13名の方が、合格率4.7%の難関を見事突破。さらに札幌在住の男性会社員(42歳)が2年連続の1級首席合格の快挙を成し遂げました。

受検者傾向を見ると、30代が最も多く、20・30代で全体の6割を占めます。若者のビール離れと言われていますが、当検定では若い世代がメイン受検者になっています。またアンケート結果を見ると、クラフトビールの台頭やビアフェスティバルの盛況もあり「自分のお気に入りのビールを見つけたい」「ビールを知って、よりビールのある時間を楽しみたい」という声が多数ありました。

当会では、日本ビール検定を通しビールの多様性や楽しさを伝え、更にビール文化の発展に貢献していきます。今後の活動についても、是非ご期待下さい。

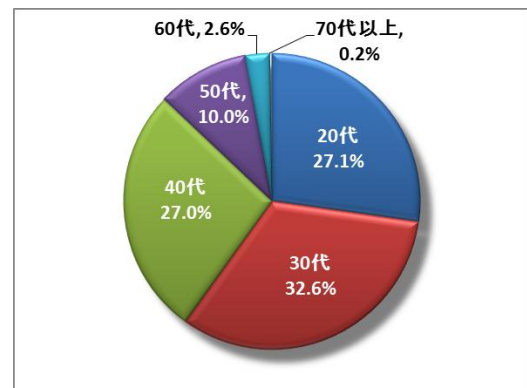
表1：級別受検者数・合格者数 (単位：名)

	3級	2級	1級	合計
申込者数	-	-	-	3,461
受検者数	1,205	1,553	279	3,037
合格者数	1,012	480	13	1,505
合格率	84.0%	30.9%	4.7%	49.6%

表2：最高得点・平均点

	3級	2級	1級
最高得点	97	93	91
平均点	71.6	62.5	58.6

表3：年代別受検者割合(男女合計)



### ■ 第3回日本ビール検定 1級首席合格者コメント (札幌市在住 男性会社員 42歳)

昨年一緒に1級に合格した方に誘われ、再び受検することを決意しました。落ちたら面目がないのですが、どんな問題を出題するのか興味があったことと、昨年の結果を証明するという意味でチャレンジしました。ドキドキしながら合否通知を待っていましたが、嬉しい結果を頂きとても良かったです。ビールは香味だけでなく原料や歴史、地域性など思った以上に多様性があり、現在もいろいろ変化し続けています。多くの方に、日本ビール検定受検を通じて、ビールの素晴らしさや奥深さを感じ取ってほしいと思っています。

## ■ 受検者の声（受検後アンケートより）

- ・ビールの歴史を勉強してから、よりビールがおいしく感じられるようになりました（女性／20代）
- ・父親に誘われて受検しました。検定を通じて食卓での会話が増えて楽しく勉強できました（男性／20代）
- ・とても楽しかった。あらためて普段からビールのお話に触れようと思いました（男性／40代）

## ■ 第3回日本ビール検定において、最も正答率の低かった問題

3級 設問027 （正答率：7.1%）

設問：ビール酒造組合が発表しているビール大手5社の2013年ビール月別出荷数量（課税移出数量）の中で、最も数量の多い月を次の選択肢より選べ。

- ① 4月    ② 7月    ③ 8月    ④ 12月

解答：④ 12月

クリスマスや年末年始などの催事、歳暮ギフトや忘年会需要などが重なる「12月」がビール需要の最盛期となっています。

## ■ 第3回日本ビール検定において、最も正答率の高かった問題

3級 設問068 （正答率：99.8%）

設問：以下の道具の名称を次の選択肢より選べ。



- ① 泡切り    ② ラベルはがし    ③ 栓抜き    ④ タンブラー

解答：③ 栓抜き

ご家庭でのビールのほとんどが瓶容器から缶容器に代わり、栓抜きを見る機会も減ってきていますが、ほぼ全員の方が、栓抜きの名称を正解する事ができました。

瓶容器での販売も多い、近年のクラフトビール需要も一因となっているかもしれません。